

○お買い上げありがとうございます。
○ご使用前に必ずお読みいただき
大切に保管して下さい。

保管用

●概要

本機は、一体型及び単体型非常警報設備操作部と組み合わせて使用されるもので、表示部(記名窓・地区表示灯、電圧計)、操作部(電池試験スイッチ、一斉鳴動スイッチ、主電源スイッチ)、電源部(電池を含む)、移報リレー、端子部から構成されております。

警告

⊘

禁止

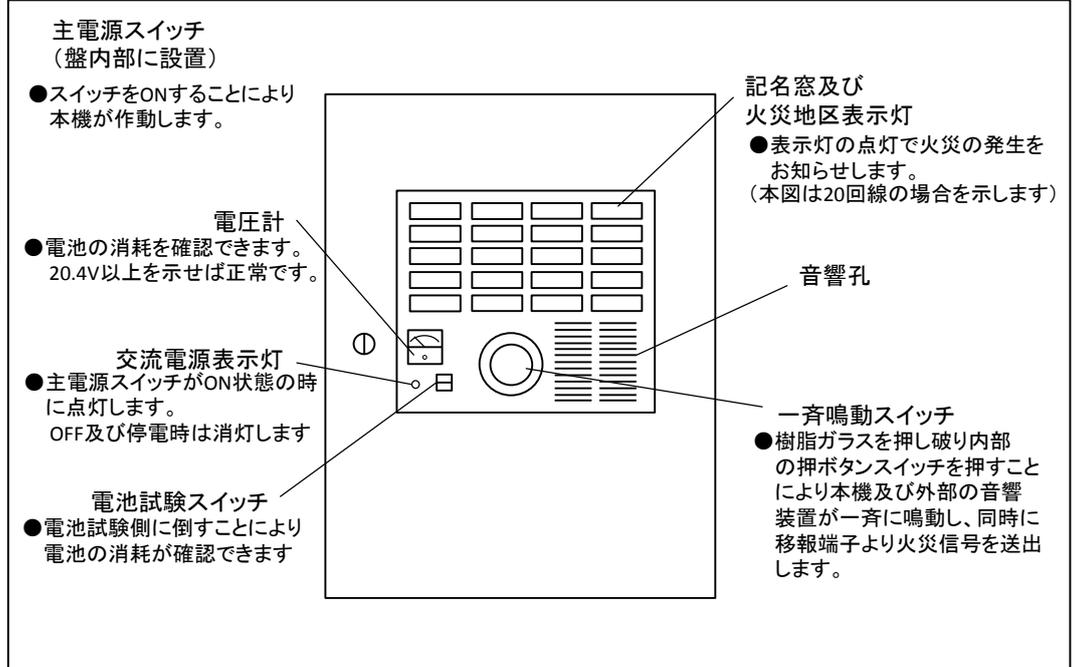
- 防火管理者及消防設備士などの有資格者以外は装置内部に手を触れないで下さい。感電・故障の原因になります。

注意

- 本機が正常な監視状態にあるか確認して下さい。
 - ・主電源スイッチON
 - ・交流電源灯の点灯

正常な監視状態でないと火災時に正しく動作しません。

各部のなまえとはたらき



●機能説明

1. 平常時(監視状態)

主電源スイッチを(ON)すると、交流電源灯が点灯し、電池が充電されます。同時に一体型及び単体型非常警報設備にDC24Vを供給し、表示灯を点灯させます。

2. 火災発報

起動装置の押しボタンスイッチが押されると該当する回路のリレーが作動し、火災地区表示灯が点灯し、音響装置(ベル)が鳴動します。同時に移報端子より火災信号を送出します。

3. 一斉鳴動

本機の一斉鳴動スイッチの樹脂ガラスを押し破り、押ボタンスイッチを押すと、本機に内蔵の音響装置(ベル)及び外部の音響装置(ベル)が全て一斉に鳴動します。同時に移報端子より火災信号を送出します。

4. 電池試験

電池試験スイッチを(電池試験)側に倒すと電池充電回路が切断され、回路には電池から電源が供給されます。この時の電池の電圧が電圧計に指示されます。電圧計が20.4V(赤線)以上を示せば電池は正常です。離すと元に戻ります。

5. 主電源の停電

主電源が停電すると交流電源表示灯が消灯し、電源切替リレーが作動し、電池から電源が供給されます。

6. 復旧操作

起動された一体型及び単体型起動装置の押しボタンを元に引き戻せば火災地区表示灯が消灯し、リレーは復旧し、一体型及び単体型の音響装置(ベル)も鳴り止みます。同時に移報端子は火災信号の送出を停止します。

7. 地区ベル鳴動方式

一体型及び単体型の音響装置(ベル)を鳴動する方法としては次の2通りがあり、本機との接続方法を変更することにより選択が可能です。

- ① 出火階、直上階鳴動方式・・・地区ベルを本機BS端子に接続。
- ② 出火階のみの鳴動方式・・・地区ベルを本機B端子に接続。